

## 平成22年度第1回高松市入札監視委員会の結果について

- 1 開催日時 平成22年7月2日(金)午後1時30分から午後2時52分まで
- 2 開催場所 高松市役所 3階 32会議室
- 3 出席者 委員3名

### (1) 委員

委員長	植木 英治	(高松大学経営学部教授, 香川大学名誉教授)
委員長代理	佃 昌道	(学校法人 四国高松学園理事長)
委員	藤本 英子	(弁護士)
※欠席委員	柴田 潤子	(香川大学大学院香川大学・愛媛大学連合法務研究科教授) 所用により欠席
	土井 健司	(香川大学工学部教授) 所用により欠席

### (2) 市側出席者

松本財務部長, 城下財務部次長(契約監理課長事務取扱), 土居都市整備部次長(下水道建設課長事務取扱), 細川水道局次長, 藤本地域政策課長, 佐々木技術検査室長, 金本建築課長, 飯田財務管理課長, 平山水道整備課長, 西村財務管理課主幹, 森田契約監理課長補佐, 滝井財務管理課長補佐, 滝川教育部総務課長補佐ほか

## 4 会議の概要

### (1) 市発注工事等の入札・契約状況などについて(報告)

#### ア 工事等の発注状況について

平成22年1月から4月までの工事および建設コンサルタント業務などの発注状況について報告を受けた。

#### 工事

一般競争入札 10件 公募型指名競争入札 117件 随意契約 8件

合計 135件 約46億3,674万円

#### 建設コンサルタント業務など

公募型指名競争入札 10件 随意契約 6件

合計 16件 約5,607万円

#### イ 指名停止の状況について

平成22年1月から4月までに行った指名停止等の状況について報告を受けた。

合計 3社

### (2) 抽出事案について(審議)

平成22年1月から4月までの市発注工事のうち, 委員会が予め契約方式別に工事の内容や業種が重複しないなどの基準により, 以下の5件の工事等の事案を抽出し, 指名の経緯などについて審議した結果, 今後の検討を要望する事項はあったが, いずれの事案も指摘に相当する問題点はなかった。

**抽出事案**

- ア 中部バイパス第3幹線工事〈総合評価落札方式簡易型Aタイプ〉  
一般競争入札 土木一式工事
- イ 勝賀中学校中棟校舎改築に伴う電気設備工事  
公募型指名競争入札 電気工事
- ウ 亀田町口径100mm配水管布設工事  
公募型指名競争入札 水道施設工事
- エ 香川支所耐震補強等に伴う昇降機設備改修工事  
随意契約 機械器具設置工事
- オ 中部バイパス第2幹線実施設計修正業務委託  
随意契約 土木関係建設コンサルタント業務

(3) その他

- ・ 次回の会議の日程 10月頃

5 質疑応答 (要旨)

質 問	回 答
<p>「中部バイパス第3幹線工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合評価落札方式を採用しているが、3社による抽選となったことについて、どのように受け止めているのか。</li> <li>・ 土木一式工事においては、最低制限価格での入札が多い傾向にあることから、総合評価落札方式における評価項目を精査し、より一層、評価値の差がつくような検討をしてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本案件に先行して平成20年度に発注した中部バイパス第2幹線工事において、入札者の大半による抽選になったことを受け、総合評価落札方式を採用することとしたものであり、本案件についても、採用しなければ20社による抽選となっていたことから、3社となったことについては、一定の成果があったと考えている。</li> <li>・ 総合評価落札方式については、これまでの試行結果を踏まえて、現在、評価項目の細分化や加算点の比重の引き上げなどの見直しを進めており、より評価値の差が付きやすいものに検討していきたい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木一式工事など，一般の建設工事について，加算点の比重を引き上げることの妥当性については，十分に吟味する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在，総合評価落札方式については，3種類を試行しており，このうち特に規模の大きい案件を適用対象とするAタイプ（技術提案型）について，加算点の引き上げの適否を検討している。加算点のウエイトは，制度設計のポイントであると認識しており，価格とのバランスなど十分に吟味することとしたい。</li> </ul>
<p>「勝賀中学校中棟校舎改築に伴う電気設備工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加業者のうち2社が，辞退しているが，なぜか。</li> <li>・条件の施工実績は妥当か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募型指名競争入札の場合，入札書を提出するまでの間は，自由に辞退することができることから，指摘のような事態は，通常起こりうる。そのため，特に，理由の提示を求めているが，他の発注案件の状況や，自社の受注状況等により，辞退しているものと思われる。</li> <li>・公募型指名競争入札実施マニュアル運用基準に基づき，当該工事の1／2以上の施工実績を求めている。</li> </ul>
<p>「亀田町口径100mm配水管布設工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・変更契約の理由について説明してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件は，平成21年度補正の国の補助制度を活用したもので，予算を9月議会の補正予算で計上したため，契約日が2月18日と年度末を間近に控えた時期となったこと，また，地元住民から交通規制について要望を受け，これに対応するため，当初工期内の完工が困難となったことから，工期を延長したものである。</li> </ul>

<p>「香川支所耐震補強等に伴う昇降機設備改修工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去にも同様の随意契約はあったのか。</li> <li>・入札価格に折り合いがつかなかったらどうなるのか。</li> </ul> <p>「中部バイパス第2幹線実施設計修正業務委託」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管の深さは何メートル程度か。また、場所によって深さは変わるのか。</li> <li>・随意契約になった理由は何か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機械設備等の改修工事においては、同じメーカーや施工業者でなければ不都合を生じる場合があるため、同様の随意契約を行った事例はある。</li> <li>・仕様の見直し等を行い再度臨むことになる。なお、見直しの結果等を踏まえ、案件によっては、競争入札による場合もあり得る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本案件では、地表面から13メートル程度であるが、既設の埋設物の状況等に応じて、場所によって深さは変わる。</li> <li>・先行する実施計画を履行し、内容を熟知していることと、業務期間の短縮、経費を縮減できることである。</li> </ul>
--	---